

令和元年度 学校・家庭・地域連携サポート事業

地域学校協働研修会

日時 令和元年7月30日（火） 9：50～16：10

会場 たまかわ文化体育館 クラブハウス・アリーナ

【目的】 地域学校協働活動事業モデル地区の取組についての実践発表や各地区での活動についての情報交換、ボランティアリーダー・ジュニアリーダーの育成についての講演や人間関係をよりよくするためのレクリエーションを中心とした演習を行い、事業に携わるコーディネーターやボランティア関係者などの資質向上を図る。

【主催】 福島県教育委員会

【共催】 玉川村教育委員会

【参加者】 放課後子ども教室関係者、児童クラブ関係者、学校支援活動関係者、市町村社会教育行政関係者、教職員等 計34名参加

□ 実践発表「地域と学校のつながり」

西郷村教育委員会生涯学習課指導主事兼社会教育主事 鈴木英雄 氏

西郷村は地域学校協働活動事業モデル地区の一つです。西郷村には3つの中学校と5つの小学校があり、放課後子ども教室や学校支援活動の取組について発表がありました。西郷村では、運営委員会や評価・検証委員会を実施したり、地域連携担当教職員とコーディネーターの打ち合わせを実施したりして、地域と学校、行政との連携を図っています。また、行政が学校からのボランティアに対する要望を取りまとめ、計画的に活動できるように体制作りを進める取組について発表がありました。



鈴木英雄氏の実践発表

□ 情報交換 「日頃の取組や課題などについて」

助言者 西郷村教育委員会生涯学習課指導主事兼社会教育主事 鈴木英雄 氏

- 学校支援者のグループでは、各地区の学校支援コーディネーターからそれぞれの地区において行っている具体的な取組について、教員からはそれぞれの学校でどのような支援をしてもらっているかについて情報交換を行いました。また、地域連携担当教職員との連携や事業を継続させるためのボランティア人材の確保、行政の関わりなど今後の課題について意見交換をしました。
- 放課後子ども教室および児童クラブ関係者のグループでは、スタッフ同士の情報共有の仕方やチェック表を使った安全管理の取組について情報交換を行いました。また、児童の多様性に伴い支援の仕方や注意の仕方に戸惑っていることや児童の増加に伴うスタッフの確保についての課題が報告されました。



それぞれの活動について情報交換

□ 講演 「ボランティアリーダー・ジュニアリーダーの育成について」

ボーイスカウト日本連盟福島支部 和合 治幸 氏



カードを使ってグルーピング



生粋の福島人 和合 治幸氏

- ワークシートを使って、ボランティアや指導者の育成について思考を整理していく。
 - ① 3つの教育とは → 学校教育・家庭教育・社会教育
 - ② 育成するために必要なもの→必要な知識・必要な技能・必要な心構え

- ③ 今の子どもたちに欠けている体験とは
→ 自然接触体験・縦集団体験／自発活動・体験社会参加／
勤労体験・困難耐性体験
- ④ 気の6段活用 → その気・やる気・本気・根気・勇気・元気
- ⑤ 自助・共助・公助を言い換えると → 自動・協働・公働
- ⑥ ボランティア・ジュニアリーダー育成に大事なこと→今日の研修で

□ 演習 「レクリエーションを通した人間関係づくり」

ボーイスカウト日本連盟福島支部 和合 治幸 氏

- 個人ゲーム
 - ・ 命令ゲーム (たまかわのみなさん) ・ ジャンケン円作り
 - ・ 指キャッチ ・ わたしはだれでしょう？
- グループゲーム
 - ・ 数集まり ・ 重ね手たたき ・ グッド&ニュー
 - ・ フープリレー ・ マシュマロタワー
- レクリエーションを通した人間関係作りのために大切なことは、人との出会いを大切にして仲間はずれを作らないこと、答え(正解)のないゲームを楽しむことが大切なことです。
- ゲームを実施するときには、安全を最優先に考えましょう。
- ゲームの順番は個人から、参加者同士、班づくり、班対抗など流れを考
えることが大切です。
- リーダーは明るい笑顔としっかりとしたあいさつを心がけましょう。



みんなで・・・「キャッチ！」



アイデア満載のマシュマロタワー

□ 参加者からの感想

◇ 実践発表 「地域と学校のつながり」

- 「子どものために」という気持ちを柱に今後も活動を進めていければと考えています。
- 緻密な計画を作成し実践していることが大変素晴らしいと感じました。
- 他の地域の取組を聞くことができとても参考になりました。
- 一つの目標を達成させるために、今まで考え方がぼんやりしていたものがはっきりしてとても役立ちました。
- 担当者が変わっても、今までと変わらずに安心安全な居場所を作ってあげられるようにしたいです。

◇ 情報交換 「日頃の取組や課題などについて」

〈学校支援〉

- 依頼書、報告書など様式を統一しておけば、担当教師が変わっても見通しを持って継続した取組になるのではないのでしょうか。
- 地域差があることがよく分かりました。司会の先生のリードでうまく思いを話すことができました。

〈放課後子ども教室および児童クラブ〉

- 安全管理が第一です。子どもとの関わり方などたくさんの情報が得られました。
- 人口減少など課題がありますが、地域との連携をより一層深めていきたいと思います。
- 各教室やクラブなどの工夫はとても役に立った。すぐに実践に取り入れていきたい。

◇ 講演 「ボランティアリーダー・ジュニアリーダーの育成について」

演習 「レクリエーションを通じた人間関係づくり」

- いろいろな遊び方や遊びの進め方を教わり参考になりました。
- 遊び方の工夫に感心しました。何事も考えて工夫していく事が重要だと感じました。
- 子どもたちとすぐにでもできることを教えていただき、ありがとうございました。
- 1人ひとりを尊重し、自立しながら学び考えること、楽しみながら活動することが分かりました。
- ゲームを通して1人ひとりが自然な役割ができていて、おもしろい時間と楽しい発見の連続でした。